

# 2023年 事業説明会

Business briefing presentation for the fiscal year ended September 2023

2023年12月22日

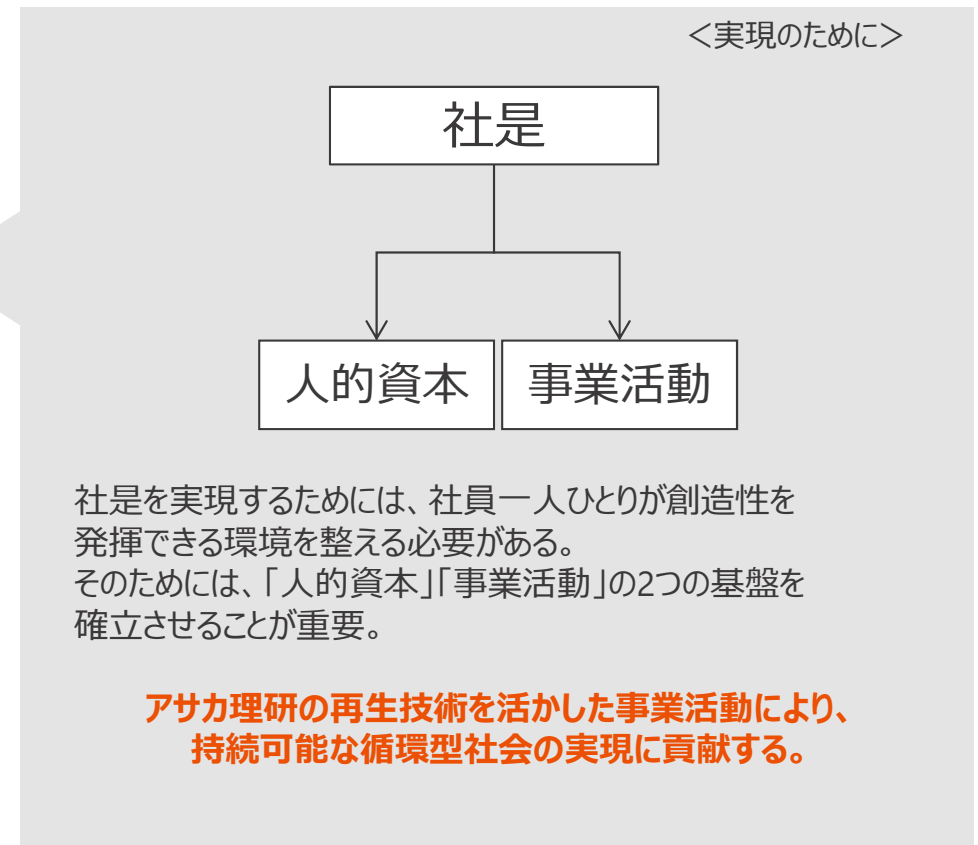
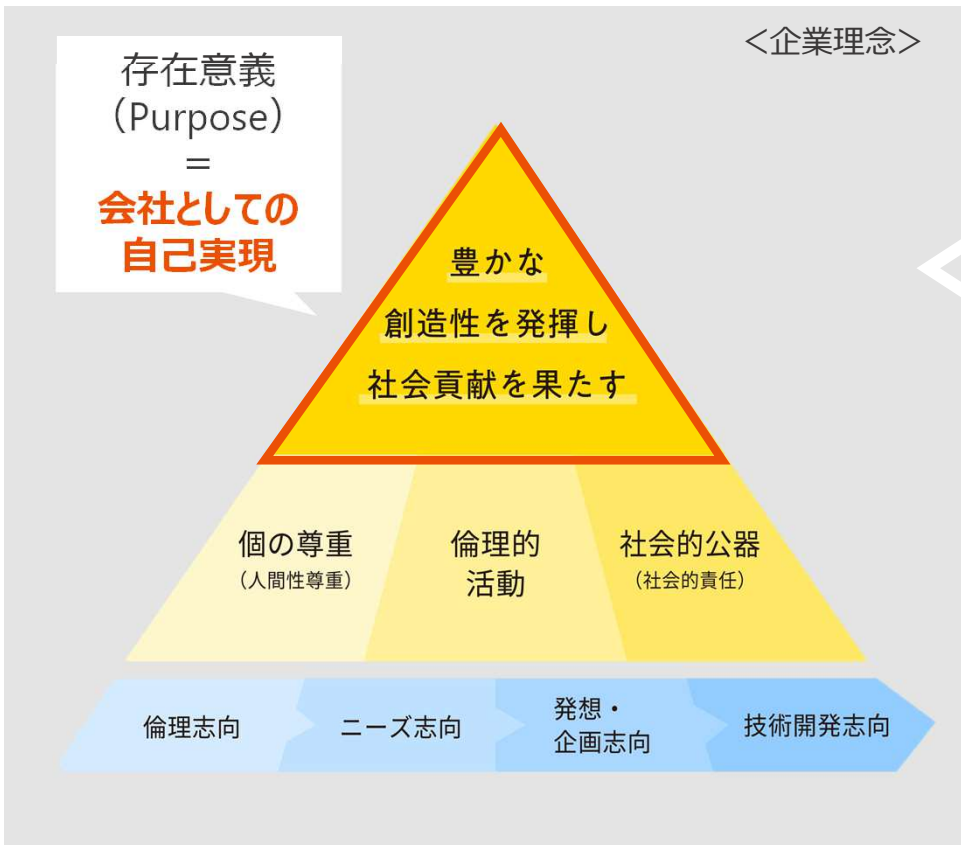
Circulate  
the possibilities

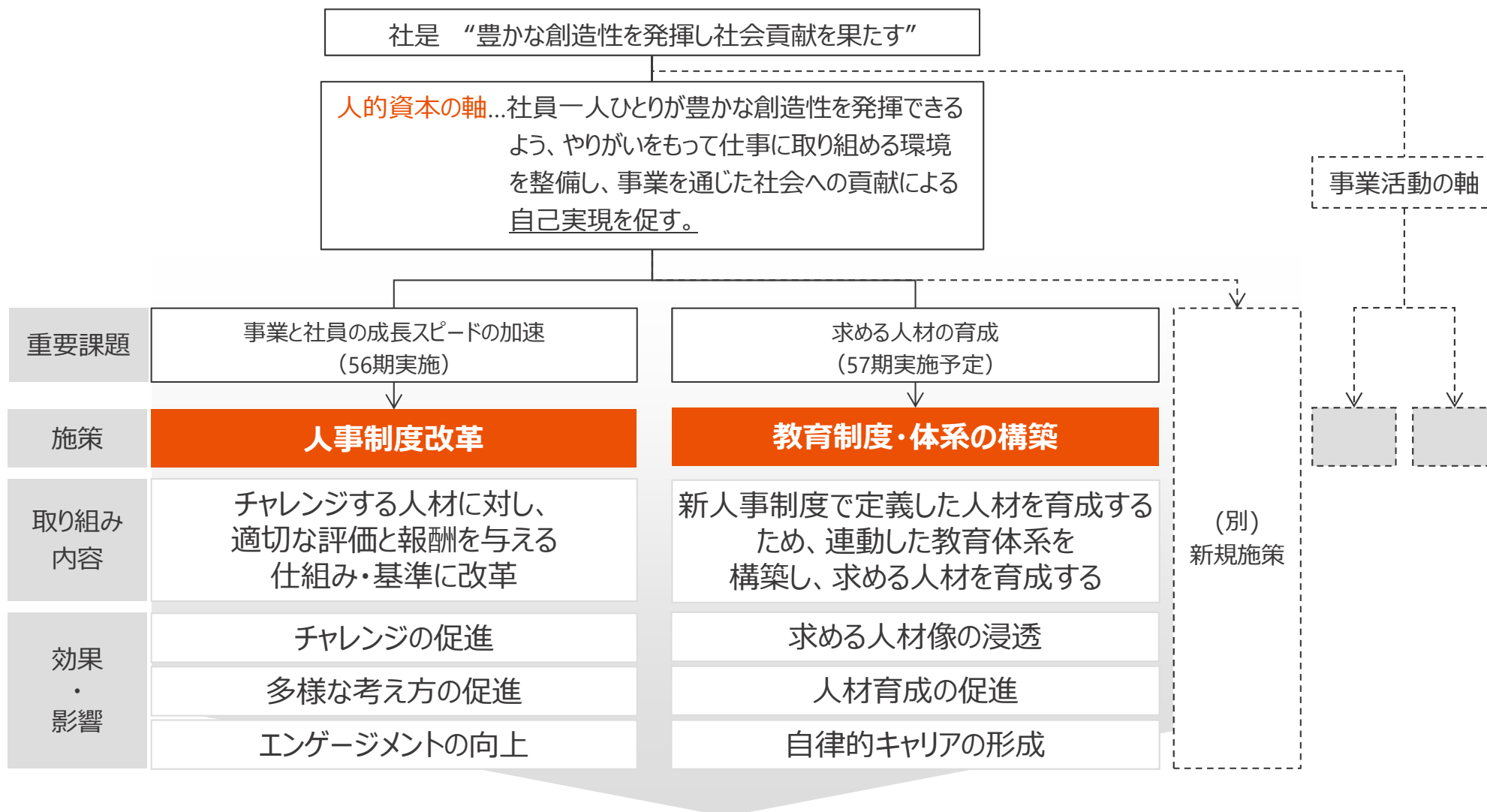


株式会社アサカ理研

証券コード：5724

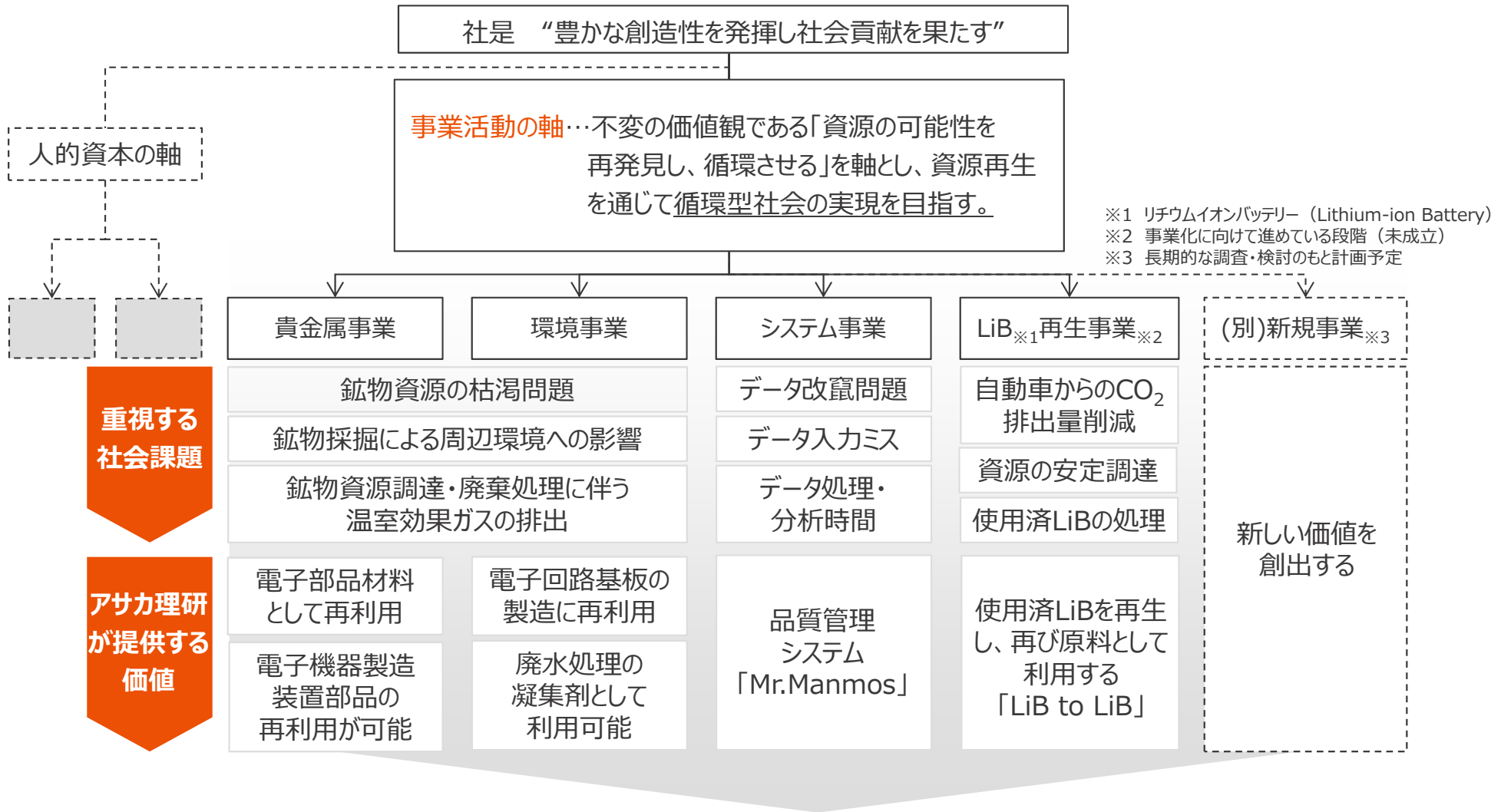
当社は、**社是を存在意義**として掲げており、  
社会貢献のために、社員一人ひとりが創造性を発揮し、事業活動に活かすことが求められる。  
その結果、「（会社に・社会に）貢献できた」という実感が生まれ、さらなる成長を促すことができる。  
このような成長は、企業の持つ価値全体をも向上させる相乗効果があり、社会全体を豊かに発展させていくことに繋がる。





やりたいことに「チャレンジ」する組織風土醸成により、  
**社員それぞれの自己実現を促す**

# 事業活動の軸



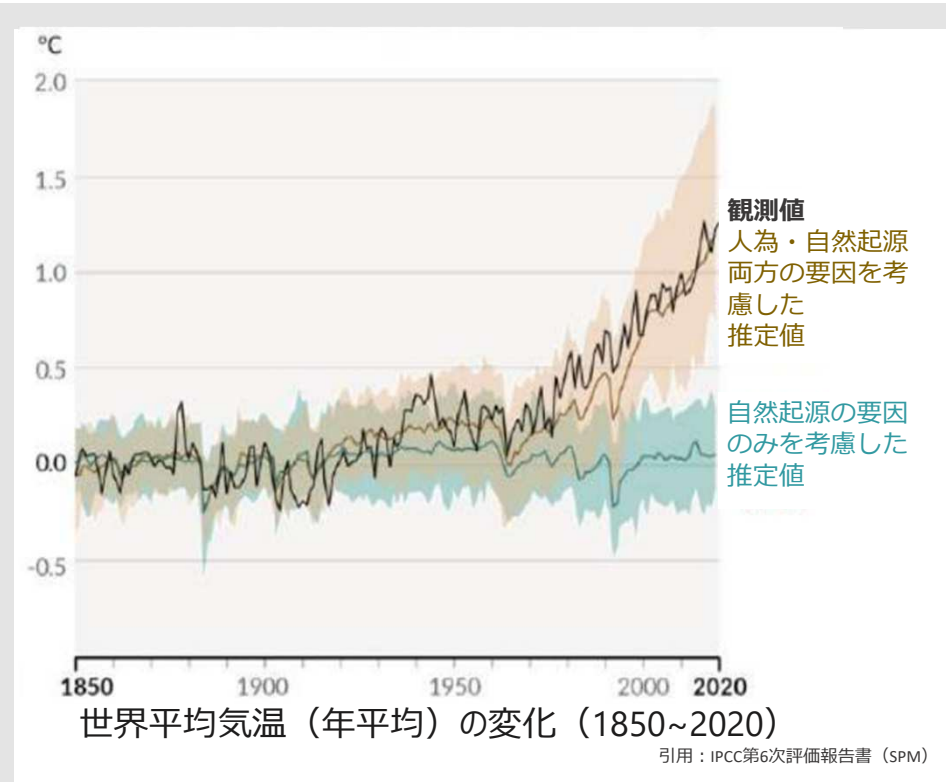
社会の変化やニーズに合わせた資源の有効活用により  
**資源循環型社会実現へ貢献**

# 重視する社会課題-1 | 自動車由来のCO<sub>2</sub>排出量削減



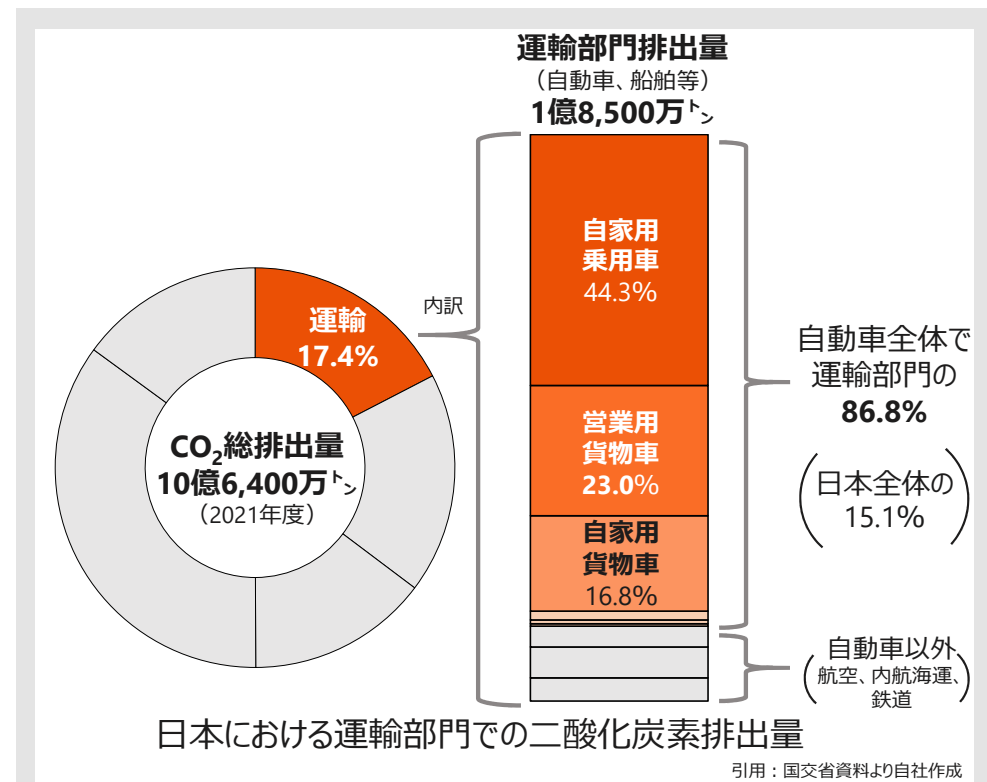
カーボンニュートラルを宣言（2020年10月）

「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」



大気中CO<sub>2</sub>濃度の増加が人間活動により  
引き起こされたことは疑う余地がない

引用：IPCC第6次評価報告書（SPM）



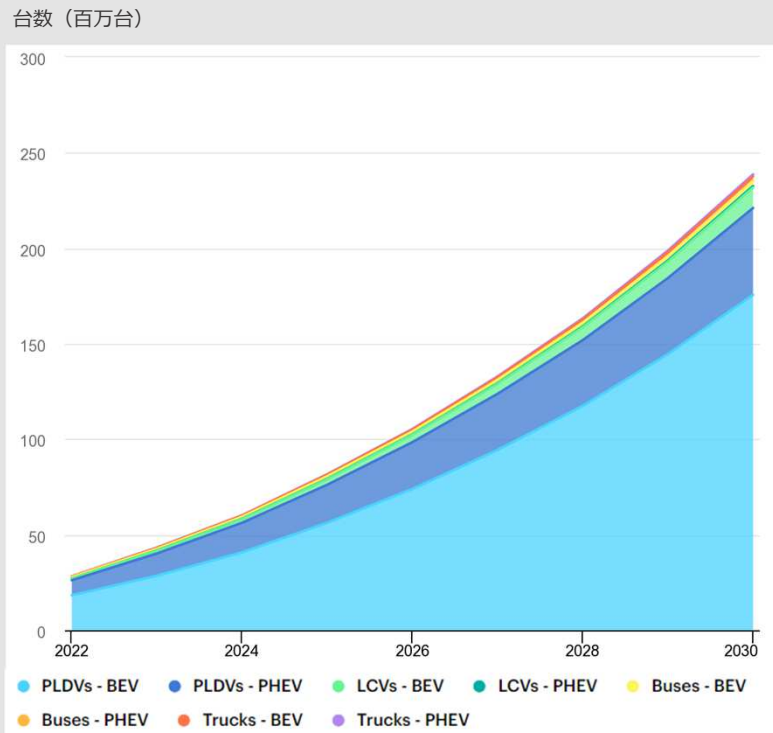
運輸部門由来のCO<sub>2</sub>排出量のうち、  
自動車全体での排出量が8割を占めている

LiB再生事業では、**自動車由来のCO<sub>2</sub>排出量削減を重要視**

# 重視する社会課題-2 | LiB原料供給上の問題



各国ではCO<sub>2</sub>排出量の削減目標が定められ、政策には自動車の電動化が含まれている。  
日本では2035年までに自動車販売割合のうち、電動車を100%にすると掲げている。



2022年～2030年のEV保有台数予測

引用：IEA, Electric vehicle stock by mode in the Stated Policies Scenario, 2022-2030, IEA, Paris  
<https://www.iea.org/data-and-statistics/charts/electric-vehicle-stock-by-mode-in-the-stated-policies-scenario-2022-2030>, IEA. Licence: CC BY 4.0

電動車の普及に比例し、  
車載用LiBの需要も増すと考えられる

LiBに含まれているレアメタル



## ■ 課題

レアメタル供給への懸念

— 偏在性

中南米・アフリカなどの政治リスクがある国から産出される鉱物もある

— 希少性

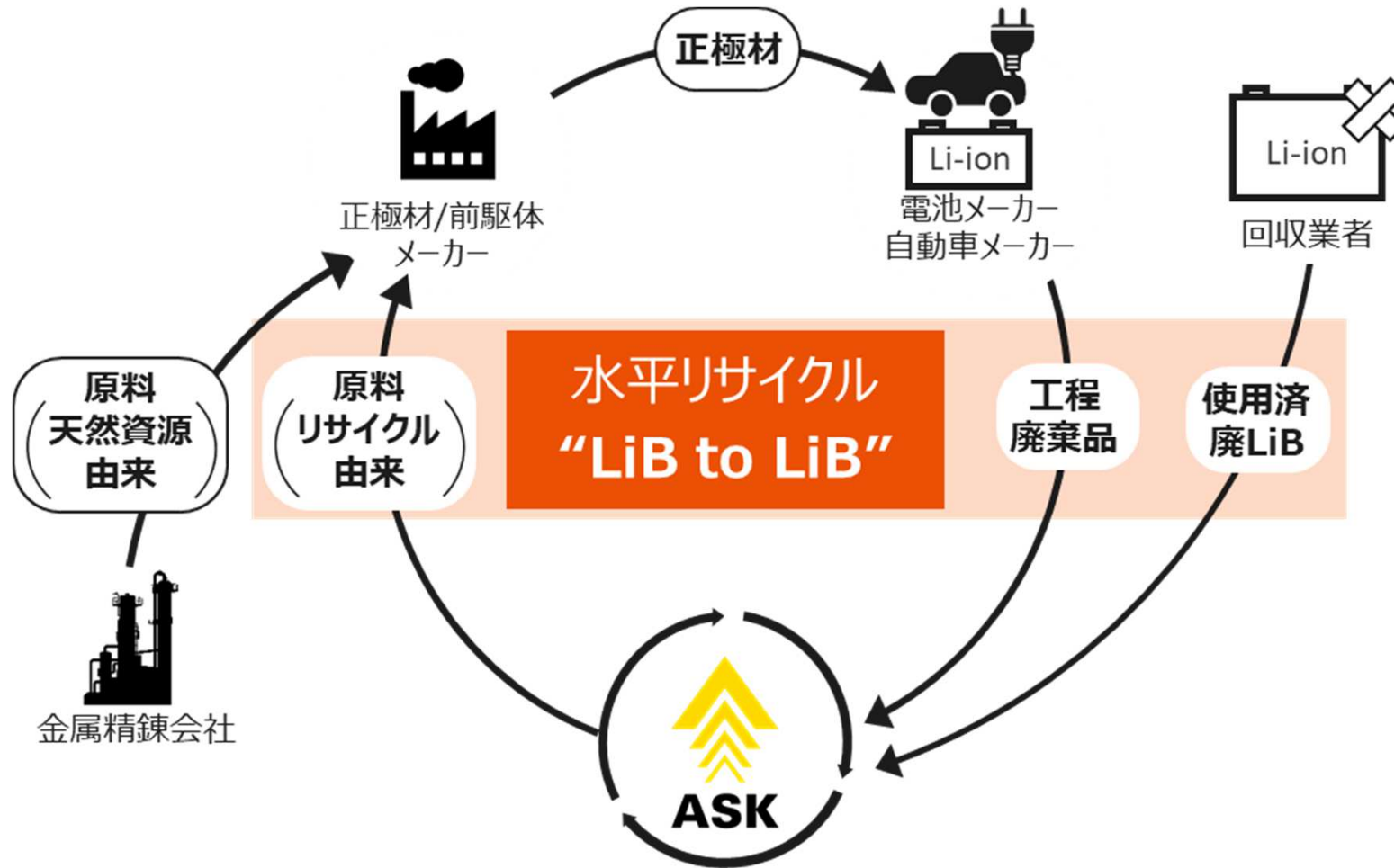
産出量が少量である、抽出が難しい希少な金属の総称

参考：経産省 資源エネルギー庁「世界の産業を支える鉱物資源について知ろう」

LiB製造に必要な鉱物資源を  
安定的に供給するには課題がある

**LiB再生原料の供給という観点から、CO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献していく**

# アサカ理研が提供する価値 | LiB to LiB

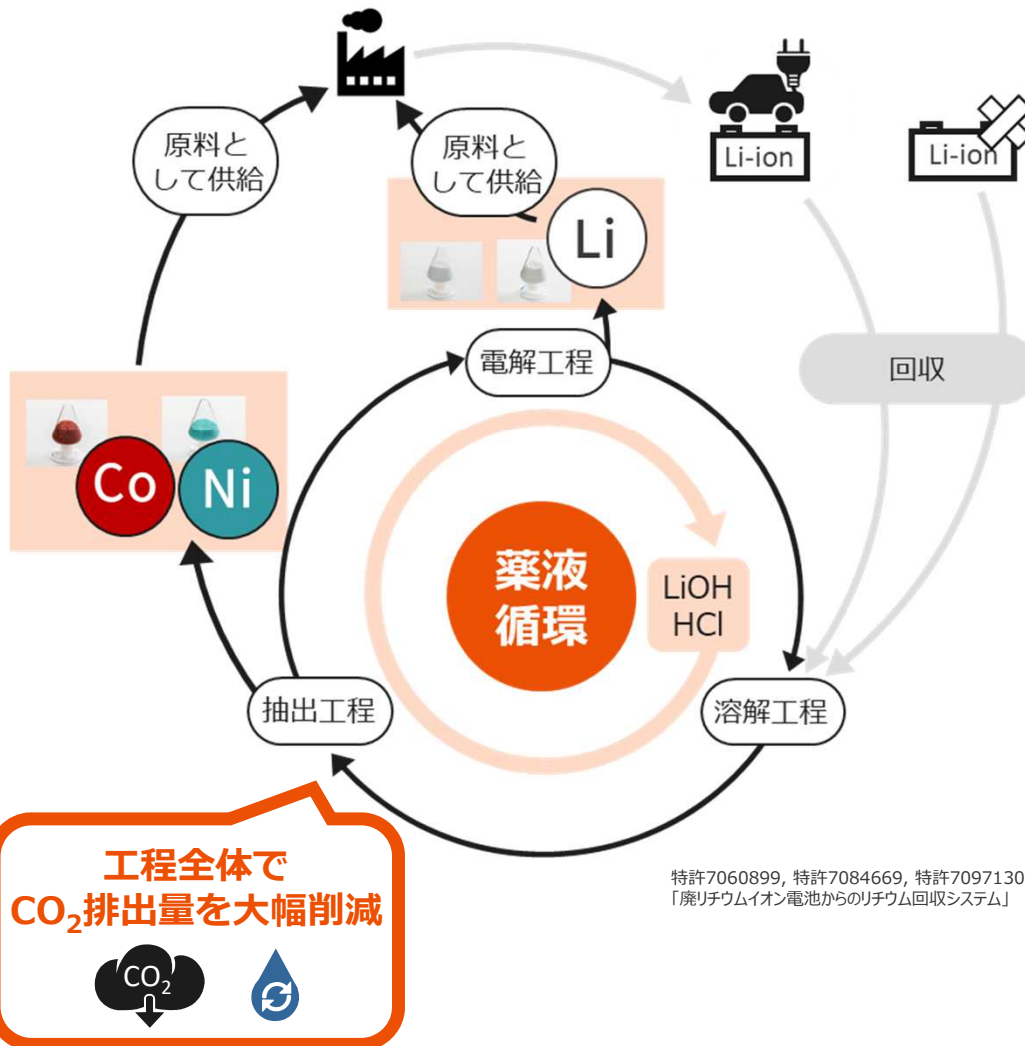


資源循環により  
社会課題の解決に貢献

# 直近の成果-1 | 低CO<sub>2</sub>プロセスの開発・特許化



水平リサイクル「LiB to LiB」内において、アサカ理研のプロセスはCO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減できるうえ、EUバッテリー規則の定める高い回収率目標を達成するものです。



## ■ 本プロセスのポイント

### ① 薬液循環工程の確立により、

#### Li、Co、Niの高回収率を達成

- 独自の循環工程の確立により、Co、Niのほか、技術的に難しいLiの高回収を可能にした
- EUバッテリー規則で定めるLi、Co、Niの2027年回収率目標、並びにLiの2031年回収率目標を早期達成

### ② 工程全体におけるCO<sub>2</sub>排出量の大幅削減

- グリーン電力を利用することにより、鉱山から資源を採掘・精製する場合と比較し、CO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減しLi、Co、Ni、Mnを回収できる
- 水を循環利用するため、排水量も大幅に削減

### ③ ハイニッケル化を見据えた

#### 水酸化Li量産技術の確立



## 直近の成果-2 | 共同開発



2023年12月21日付のプレスリリースにて、

### **プライムプラネットエナジー & ソリューションズ株式会社と共同開発契約締結。**

資源循環社会の実現に向け、リチウムイオン二次電池の工場発生端材および、廃リチウムイオン二次電池を原料とした、低CO<sub>2</sub>リサイクルプロセスを共同開発し、CO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献。

契約相手先：プライムプラネットエナジー & ソリューションズ株式会社

所在地：東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号

代表者：代表取締役社長 好田博昭

事業内容：車載用高容量/高出力角形電池の開発・製造・販売

車載用次世代電池（新原理によるものを含む）の開発・製造・販売

その他付帯・関連事業

設立：2017年

株主構成：トヨタ自動車(株) 51%

パナソニックホールディングス(株) 49%

<IRに関するお問い合わせ先>

株式会社アサカ理研 経営企画部 経営企画室

〒963-0725

福島県郡山市田村町金屋字マセ口47番地

TEL : 024 (944) 4744

FAX : 024 (944) 4749

E-MAIL : [ir@asaka.co.jp](mailto:ir@asaka.co.jp)

URL : <https://www.asaka.co.jp/>



**ASK**

**株式会社アサカ理研**